

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0102	政策名	工業の振興	施策主管課	商工労政課	課長名	久保田 謙一
政策の目指す姿	企業が強い競争力を持ち、生産活動を活発に行っています						
施策No	01	施策名	技術力・経営力の向上	関係課名	商工観光部 商工労政課		
施策の目指す姿	企業の技術力や経営力が向上しています						
現状と課題							
<p>【現状】 ・市内企業の設備投資については、人手不足の状況もあり、省力化ニーズやスマート工場への対応といった動きもみられる一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大や原油高の影響などによる海外経済の減速に伴う景気の足踏みや増税による消費の冷え込みを懸念し慎重な姿勢が続いています。</p> <p>【課題】 ・国内外の競争に打ち勝つためには、地域企業の競争力を高める必要があります、新たな事業展開や新分野参入、またモノのインターネット(IOT)や人工知能(AI)を活用した労働生産性の向上により人手不足に対応する必要があります。</p>							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
・市ホームページ、広報はなまき及び産業支援施策の冊子による事業PRを継続して行い、企業訪問や産業支援施策制度説明会で周知を図るとともに、随時、企業のニーズに応じた支援メニューの拡大や見直しを図る。

反映状況

・企業競争力強化支援事業などの補助金活用を検討している市内事業所から相談を受けた際には、起業化支援センターなどの支援機関と連携し、事業計画の聞き取りや申請書作成支援を行うなど、円滑に申請手続きができるよう支援したほか、市ホームページや企業のメーリングリスト等の活用により、タイムリーに情報提供や周知徹底を行った。令和4年度においては産業支援施策制度説明会について3年ぶりに開催したほか（新型コロナウイルス感染症の拡大によって令和2、3年度が開催見送り）、過年度同様に産業支援施策パンフレットを作成のうえ市内企業に送付するとともに、企業訪問の際にも説明するなど支援制度について周知を図った。
--

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 技術力・経営力の向上支援 ○産学官金連携の推進 ・共同研究開発、展示会出展、人材確保、人材育成、ブランド化推進、特許等の産業財産権等の取得、販路拡大といった企業競争力強化に資する取組に係る経費の一部を補助 ○円滑な資金調達の支援 ・市内金融機関との連携による運転資金や設備資金、開業資金等の融資制度を通じ、円滑な事業資金の調達を支援 ・上記資金融資に対し、利子の一部と保証料を補助することで、中小企業の経営基盤安定を支援 ・市制度よりも、事業者・市ともに負担の少ない県制度融資（商工観光振興資金、小規模小口資金、創業資金、新型コロナウイルス感染症対策資金）への支援を実施 ○経営課題の解決や製品・技術開発の支援 ・大学の研究者、民間企業OB、税理士等の専門家をアドバイザーとして派遣 ○商品・サービス・企業のブランド化推進 ・企画費やデザイン費の一部を補助 ○企業の情報発信力強化と企業間ネットワークの構築 ・展示会への共同出展や大学等の関係機関との連携を強化するためのコーディネート活動を実施 ○新型コロナウイルス感染症の影響から脱却を図る業態・業種転換等の取組支援 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者に対し、事業転換や業種転換などの事業再構築を図る取り組みを支援

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
市の支援により技術力・経営力の向上に取り組んでいる企業数	企業が抱えている技術・経営の課題解決や技術力・経営力に磨きをかけるため、即時的な効果が表れないものの、企業競争力制度の活用や専門家等の助言を受け、長期的な観点から技術力・経営力の向上に向けた取組を示す指標	出典：商工労政課、（一社）ビジネスサポート花巻 ・企業競争力強化支援事業を活用した事業所数 ・アドバイザーの派遣を受けた事業所数 ・起業化支援センターコーディネーターが支援した事業所数	社	目標値	100.00	123.00	123.00	123.00	123.00	
				実績値	226.00	137.00	138.00	187.00		
融資実行件数（設備投資）	企業の技術力・経営力の向上度合を示す指標	出典：商工労政課 ・中小企業振興融資における設備投資の新規貸付件数をカウントする	件	目標値	60.00	63.00	63.00	63.00	63.00	
				実績値	50.00	15.00	61.00	68.00		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「市の支援により技術力・経営力の向上に取り組んでいる企業数」…【達成度a】 起業化支援センターのコーディネーターによる企業訪問、産業支援施策制度説明会、市ホームページ及び広報はなまきによる周知により、企業競争力強化支援事業が企業側に浸透し、活用する企業が増加したことから、目標値を上回った。</p> <p>■成果指標「融資実行件数（設備投資）」…【達成度a】 市の中小企業振興融資に加え、県制度融資への利子・保証料補給を実施した。県制度融資は、市振興融資と比較すると、利子及び保証料補給額に関する市の負担を少なくしても、最終的に事業者が負担する額も少なくなることから、県制度融資の方が市振興融資よりも有利である。このことから市振興融資の新規貸付件数は昨年度より減少したものの、県制度融資も含めた新規貸付件数は増加した。また、事業を継続するための運転資金需要が増している一方、アフターコロナを見据えて積極的な設備投資の需要も高まっていることから目標値を上回った。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（技術力・経営力向上支援事業）企業競争力強化支援事業補助金について、事業者の挑戦による生産性や付加価値向上を後押しするため、社会情勢の変化や、それに伴う事業者のニーズを捉え制度に反映していく必要がある。 ・（中小企業振興融資事業）国や県の融資制度の動向を注視し、市の負担を考慮しつつ事業者の円滑な資金調達を支援することができる制度を検討していく必要がある。
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

課題
<p>・企業競争力強化支援事業等の制度を毎年活用するなど、有効活用している企業がいる一方で、制度のことを把握していない等の理由から全く活用しない企業もあり、活用状況に偏りがあることから、更なる制度の周知を図る必要がある。</p>
今後の方向性
<p>・市ホームページ、広報はなまき及び産業支援施策の冊子による事業PRを継続して行い、企業訪問や産業支援施策制度説明会で周知を図るとともに、随時、企業のニーズに応じた支援メニューの拡大や見直しを図る。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
010	技術力・経営力向上支援事業費	商工労政	一致	意図	A
	展示会出展や人材育成など企業競争力の強化に資する自立的活動を支援 (企業競争力強化支援事業補助金交付件数R3:81件→R4:87件)			直結度	
011	技術力・経営力向上支援事業費	商工労政	一致	間接・補完	-
	花巻工業クラブが行う事業に対し、補助金を交付(工業クラブ事業補助金額R3:440千円→R4:440千円)			B	
020	中小企業振興融資事業費	商工労政	一致	間接・補完	C
	市の中小企業振興融資及び県の制度融資に係る利子・保証料補給を実施(新規貸付件数:213件うち設備資金68件)			B	